

かわさき

消防かわら版

平成29年
2月号

発行
川崎消防署
044-223-0119



今年に入り、火災が多発しています。残念ながら川崎消防署管内でも高齢者の方が火災により命を落とされました。過去10年の統計資料からも、火災による死者の割合は65歳以上の方が6割以上を占めています。

以下の事を参考にして、大切な命を火災から守りましょう。

火災が発生してしまったら・・・

・危険を感じたら、避難を開始してください。

・口元を覆い、姿勢を低くして避難してください。

・避難後は、中に戻ってはいけません。

避難することに不安のある方や高齢者の方、身の回りに高齢者のいる方は以下の事を特に参考にしてください。

消防庁登録者番号

防 災

登録確認機関名

防災製品を使用しましょう

・火は布団、じゅうたんやカーテンなどを介して拡大していくので、火の回りを遅くするため、燃えにくい防災表示のある製品を使用しましょう。



住宅用火災警報器を設置しましょう

・就寝中などに火災の初期段階で警報音により知らせてくれるため住宅用火災警報器を設置しましょう。



地域みんなで助け合いましょう

・高齢者だけの世帯、日中には高齢者だけになる世帯が増えています。隣近所の協力体制を作り、地域ぐるみで火災から守りましょう。

～春の火災予防運動～ 3月1日～3月7日

お知らせ

平成29年春季火災予防運動の一環として、川崎を拠点に活動しているプロビーチバレー選手である坂口佳穂氏(マイナビ/KBSC所属)を一日消防署長としてお招きし、委嘱状交付式、防火パレード及び広報活動等を行います。

日時: 平成29年2月26日(日)11時45分から(予定)

場所: チネチッタ通り～川崎銀柳街



坂口佳穂選手 ©JBV